

平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスプール

コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 浦上 壮平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当

(氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	1,489	22.8	17	—	14	—	10	—
25年11月期第1四半期	1,212	△3.2	1	23.5	△1	—	△3	—

(注) 包括利益 26年11月期第1四半期 10百万円 (—%) 25年11月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第1四半期	4.05	—
25年11月期第1四半期	△1.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第1四半期	1,699	375	21.9	134.83
25年11月期	1,508	188	12.4	72.70

(参考) 自己資本 26年11月期第1四半期 372百万円 25年11月期 187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,925	12.5	58	△1.9	51	△2.5	42	△4.7	15.47
通期	6,000	11.8	150	127.6	137	180.3	117	161.7	42.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想に変更はありませんが、当第1四半期連結累計期間における新株予約権の行使によって、発行済株式数が増加しております。上表の1株当たり当期純利益は、この発行済株式数の増加を反映した期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期1Q	2,765,400 株	25年11月期	2,583,400 株
26年11月期1Q	24 株	25年11月期	0 株
26年11月期1Q	2,672,336 株	25年11月期1Q	2,583,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、本日(平成26年4月4日)、当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府及び日本銀行の財政・金融政策等より株高・円安基調が継続しており、企業収益は大きく改善し、個人消費にも拡大の動きが見られます。中国を始めとする新興国経済の成長鈍化や、ウクライナに端を発した米ロの対立等、国際情勢を巡る懸念事項は依然として存在しておりますが、国内景気は持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような国内景気の緩やかな回復を背景に改善傾向にあり、厚生労働省が発表した平成26年2月の全国の有効求人倍率は1.05倍と、15ヶ月連続で上昇しております。消費税増税を前にした駆け込み需要の対応等もあって、幅広い業種で求人が増加し、特に製造業やサービス業においては人材不足感が強まっております。

このような環境の下、当社グループは、当連結会計年度の事業方針である、赤字・先行投資サービスの早期収益化と主力サービスの積極拡大の2点に絞って事業を推進してまいりました。特に主力の3サービス（人材派遣サービス、ロジスティクスアウトソーシングサービス、障がい者雇用支援サービス）については、需要が好調に推移し、順調に拡大しました。一方、赤字・先行投資サービスの早期収益化については、一定程度の目処は付いたものの、当第1四半期連結累計期間の収益への影響はあまりありませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,489,526千円（前年同四半期比22.8%増）、営業利益は17,682千円（前年同四半期比1,127.4%増）、経常利益は14,413千円（前年同四半期は1,865千円の経常損失）、四半期純利益は10,833千円（前年同四半期は3,086千円の四半期純損失）となりました。

平成26年11月期 第1四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成25年11月期 第1四半期	平成26年11月期 第1四半期	増減率
売上高	1,212,598	1,489,526	22.8%
営業損益	1,440	17,682	1,127.4%
経常損益	△1,865	14,413	－%
四半期純損益	△3,086	10,833	－%

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールにて、フィールド調査アウトソーシング、マーチャンダイジング等のサービスを提供しています。

なお、平成25年12月1日を効力発生日として、会社分割（簡易新設分割）により新たに連結子会社である株式会社エスプールロジスティクスを設立し、株式会社エスプールのロジスティクスアウトソーシング事業を承継しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力のロジスティクスアウトソーシングと障がい者雇用支援サービスがともに順調に拡大しました。ロジスティクスアウトソーシングにおいては、前第2四半期連結会計期間に業務を開始した神奈川県的大型物流センターの運営代行業務が売上増加に大きく寄与した他、インターネット通販の発送代行業務においても新規顧客の獲得が進みました。一方、損益面においては、前述のロジスティクスアウトソーシングの大型物流センター新規案件において、業務立ち上げ期のノウハウ蓄積のため人員を多めに投入したこと、及びインターネット通販の発送代行業務において新センターを開設したため稼働率が一時的に低下していること、また除染業務での損失が広がったこと等により苦戦しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は591,187千円（前年同四半期比41.9%増）、営業利益は14,359千円（前年同四半期比38.5%減）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、主力の携帯電話販売業務において、キャンペーン業務の積極的な受託やグループ型派遣の推進等により、売上が大きく増加しました。また、コールセンター業務においては、採算管理を強化したため、受託単価が上昇しました。人材の採用市場は依然として逼迫しておりますが、受託業務の長期化を推し進めたため、販売費及び一般管理費の増加率を売上増加率以内に抑えることができました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は920,169千円（前年同四半期比11.0%増）、営業利益は75,002千円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

平成26年11月期 第1四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成25年11月期 第1四半期	平成26年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	1,245,931	1,511,357	21.3%
ビジネスソリューション事業	416,665	591,187	41.9%
人材ソリューション事業	829,265	920,169	11.0%
調整額	△33,332	△21,830	－%
合計	1,212,598	1,489,526	22.8%

営業利益（単位：千円）	平成25年11月期 第1四半期	平成26年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	87,188	89,362	2.5%
ビジネスソリューション事業	23,357	14,359	△38.5%
人材ソリューション事業	63,830	75,002	17.5%
調整額	△85,747	△71,679	－%
合計	1,440	17,682	1,127.4%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から190,902千円増加(12.7%増)し、1,699,417千円となりました。当第1四半期連結累計期間においては、新株予約権の行使や長期借入金の新規借入によって現金及び預金が増加し、流動資産が175,604千円増加しました。また、株式会社エスプールプラスが展開する農園運営事業のための土地を購入したため、固定資産が15,297千円増加しております。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から4,014千円増加(0.3%増)し、1,324,244千円となりました。当第1四半期連結累計期間においては、買掛金や未払法人税等、未払費用の減少によって流動負債が59,473千円減少しました。一方、長期借入金の新規借入により固定負債は63,487千円増加しております。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から186,888千円増加(99.3%増)し、375,173千円となりました。これは、主に新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の12.4%から9.5ポイント改善して21.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、概ね計画通りに推移し、第2四半期連結会計期間以降も期初事業方針を粛々と実行していくことから、前回発表の予想水準になるものと判断しております。

従いまして、平成26年1月15日に公表いたしました平成26年11月期の通期連結業績予想について、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,426	673,889
受取手形及び売掛金	645,315	632,506
商品	6,500	433
その他	107,170	113,105
貸倒引当金	△9,779	△8,696
流動資産合計	1,235,632	1,411,237
固定資産		
有形固定資産	167,104	183,619
無形固定資産	12,797	13,529
投資その他の資産		
その他	119,436	121,740
貸倒引当金	△26,457	△30,709
投資その他の資産合計	92,979	91,030
固定資産合計	272,881	288,179
資産合計	1,508,514	1,699,417
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,128	80,313
短期借入金	476,400	483,800
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	72,364	87,844
未払法人税等	15,288	4,233
未払費用	286,118	275,591
賞与引当金	13,780	15,744
その他	188,655	160,734
流動負債合計	1,187,735	1,128,262
固定負債		
長期借入金	98,460	161,879
資産除去債務	26,078	26,147
その他	7,956	7,956
固定負債合計	132,494	195,982
負債合計	1,320,229	1,324,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	237,159
資本剰余金	—	87,159
利益剰余金	37,363	48,196
自己株式	—	△20
株主資本合計	187,363	372,496
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	438	366
その他の包括利益累計額合計	438	366
新株予約権	482	2,310
純資産合計	188,285	375,173
負債純資産合計	1,508,514	1,699,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
売上高	1,212,598	1,489,526
売上原価	916,005	1,154,377
売上総利益	296,592	335,149
販売費及び一般管理費	295,152	317,467
営業利益	1,440	17,682
営業外収益		
受取利息	43	122
還付消費税等	—	1,358
持分法による投資利益	427	—
その他	31	140
営業外収益合計	502	1,621
営業外費用		
支払利息	3,503	3,539
社債利息	305	101
持分法による投資損失	—	808
その他	—	441
営業外費用合計	3,808	4,890
経常利益又は経常損失(△)	△1,865	14,413
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,865	14,413
法人税、住民税及び事業税	1,876	3,579
法人税等調整額	△655	—
法人税等合計	1,220	3,579
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,086	10,833
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,086	10,833

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,086	10,833
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	336	△72
その他の包括利益合計	336	△72
四半期包括利益	△2,750	10,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,750	10,761
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金が87,159千円、資本剰余金が87,159千円、それぞれ増加しております。これにより、当第1四半期連結会計期間末の資本金が237,159千円、資本剰余金が87,159千円、発行済株式数が2,765,400株となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ビジネスソ リューション事 業	人材ソリュー ション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	412,159	800,439	1,212,598	—	1,212,598
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,506	28,826	33,332	△33,332	—
計	416,665	829,265	1,245,931	△33,332	1,212,598
セグメント利益	23,357	63,830	87,188	△85,747	1,440

(注) 1. セグメント利益の調整額△85,747千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,709千円及びセグメント間取引消去△2,037千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ビジネスソ リューション事 業	人材ソリュー ション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	587,991	901,535	1,489,526	—	1,489,526
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,196	18,634	21,830	△21,830	—
計	591,187	920,169	1,511,357	△21,830	1,489,526
セグメント利益	14,359	75,002	89,362	△71,679	17,682

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,679千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,679千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。